

# 今年の栽培は土づくりから

～堆肥を入れてよく耕しましょう～

作物の栽培は土づくりからはじまります。

良い土とは、土がやわらかく、排水性・保水性・通気性や保肥力が高く、有用な微生物がたくさんいる土のことです。

堆肥を毎年施し深く耕すことで、土の性質が改善され良い土になっていきます。

## 【主な堆肥の種類】

◎植物性堆肥（樹皮や落ち葉など、植物性の有機物を主原料とした堆肥）

動物性堆肥に比べ肥料分が少なく、土づくり効果が高い。

◎動物性堆肥（家畜ふんなど、動物性の有機物を主原料とした堆肥）

植物性堆肥に比べ肥料分が多く、土づくり効果も高い。

- ・『馬糞堆肥』、『牛糞堆肥』・・・土づくり効果が高い。
- ・『鶏糞堆肥』、『豚糞堆肥』・・・土づくり効果よりも肥料的効果が高い。

※最近はこちらが適度に混合された堆肥も売られています。

## 【堆肥施用時の注意点】

未熟な堆肥を施すと、施用後に発酵してガスが発生して植物に害を及ぼしたり、微生物が分解する時に土中の窒素を使い、作物に窒素が供給できなくなることがあります。

堆肥を使う時は、必ず完熟した堆肥（よく乾燥してにおいが少なく、植物残渣等が形を残していないもの）を使用しましょう。

また、作付けは、堆肥施用後1ヶ月程度おいてから行いましょう。



峡南農務事務所 農業農村支援課  
(峡南地域普及センター)

生産振興担当 055-240-4131